

備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成17年度(昭和38年度)	水道法、公益事業法	
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目 基本施策	01	生活しやすいまちづくり
	小項目 施策	09	上水道及び簡易水道
事務事業名	02	水質管理事業	
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者
目的(何のために)	安価で良質な飲料水を安定的に供給するため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水の停滞しやすい場所でも、水質基準に適合し衛生上の措置として残留塩素を必要量保持した、安心・安全な飲料水を供給する。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するため実施した事業	水質管理事業	水質検査(原水・浄水基準項目) 13ヶ所 年1回	
		水質検査(浄水省略不可項目) 13ヶ所 年3回	
		水質検査(原水・浄水簡易項目) 13ヶ所 年8回	
		水質検査(水質管理目標設定項目) 4ヶ所 年1回	
		水質検査(原水指標菌) 6ヶ所 年4回	

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	6,330	6,364	6,282
	必要人員	人	0.60人	0.36人	0.31人
	事業費	千円	12,211	10,004	9,375
	国庫支出金	千円			
受益者負担		12,211	10,004	9,375	
繰入金					
市債					
その他()					
一般財源					
受益者負担比率	%	100.0%	100.0%	100.0%	

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量		13	13	13
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,015,300	2,019,578	1,995,100
	単位当たりコスト		155,023	155,352	153,469

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
水質基準の適合率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
定期的に実施している水質検査の結果が水質基準に適合している割合。(適合件数/対象件数)					

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	前年度と同様に水質基準の適合率100%を維持するよう努める。						

総合評価	
水道事業にとって水質管理は重用であり、改訂する度に厳しくなっている水質基準に対応するため、水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)認定水質検査機関と連携しながら技術の向上に努めている。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	水道事業にとって水質管理は重用であり、改訂する度に厳しくなっている水質基準に対応するため、水道GLP認定水質検査機関と連携しながら技術の向上に努めている。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな